

TFの雇用申請（申請書：記載のポイント）

教育開発支援センター長 殿

2025年度ティーチング・フェロー活用授業 申請書(案)

以下のとおり、ティーチング・フェロー(以下、TF)を活用した授業に申請いたします。申請するにあたり、「授業におけるティーチング・フェロー試行的活用に関する取扱要項」を遵守します。また、TF活用に関する一切の責任を負うものとします。

1 基本情報

所属長 (推薦母体)	所属・役職	〇〇学部長	氏名	〇〇 〇〇
申請者	所属	〇〇学部	氏名	〇〇 〇〇
			職名	〇〇
担任者 (申請者と同じ場合は記入不要)	所属	〇〇学部	氏名	〇〇 〇〇
			職名	〇〇
授業科目名	<区分> <input type="checkbox"/> 新規 ・ <input type="checkbox"/> 継続	〇〇〇〇論	学期	2025年度 〇学期
			曜限	〇〇

2 学生情報

氏名	〇〇 〇〇	学籍番号	〇〇 〇〇
所属	〇〇 〇〇 研究科	後期課程	〇〇 〇〇 専攻 〇 年次
学内 Email アドレス	〇〇@〇〇	携帯電話番号	〇〇〇〇
指導教員の許諾	<input type="checkbox"/> 許諾あり TF 業務が学生の学業・研究活動に支障がないことを、学生または授業担当教員から指導教員に確認する。	指導教員名	〇〇 〇〇
TF 研修受講歴	<input type="checkbox"/> 修了済み 修了年度 〇〇〇〇 年度 <input type="checkbox"/> 受講予定		
TA 経験	<input type="checkbox"/> 経験あり 直近の担当科目： <input type="checkbox"/> TF 担当学期までに担当予定 担当予定科目： ※TA 経験の有無は問わないが、TF 担当学期までに TA を担当していることが望ましい。		
現在の研究テーマ			

現在TFが取り組んでいる研究テーマについて、具体的に記載してください。また授業内容との関連がある場合には、どのように関連するかについても可能な限り記してください。

TFの雇用申請（申請書：記載のポイント）

授業実施までの準備段階、実施時・実施後の指導内容を具体的に記載してください。特にTFに対するアドバイスやフィードバックの方法について明記してください。

TFが単独で担当する授業回（最大3回）の具体的な内容について、シラバスに記載の授業計画を踏まえて明記してください。

TFが単独で担当する授業回以外の内容について、TFの役割を明確にして、シラバスに記載の授業計画を踏まえて明記してください。

3 TF の指導計画・業務内容	
TF に対する指導方針・指導計画	TF が学ぶべきスキルや知識をどのように身につけるのか、具体的なアドバイスやフィードバック方法などを記入してください
授業中における業務 ※TF が授業中に担当できる業務については TF 取扱要項 3(1)アを参照すること。	
担当する授業に関する業務 (取扱要項3(1)アの授業の単独実施に相当)	担当回・時間: 第[○]回・○分、第[○]回・○分 業務内容(シラバスに記載の TF 担当の授業計画に基づいて具体的に記載してください):
授業実施以外の業務 (取扱要項3(1)アの授業の単独実施以外の業務)	活用計画: 第[○]回・○分、第[○]回・○分 業務内容(具体的業務):
授業外における業務 ※TF が授業外に担当できる業務については TF 取扱要項 3(1)イを参照すること。	活用計画: 授業回数[○]週×1 回活用時間[○]h×クラス数[○]クラス 合計活用時間: ○時間 業務内容(具体的業務):

- ・授業外業務の記載について、「活用計画」に記された「合計活用時間」に留意して、具体的に記してください。
- ・教材準備に関する業務については、どのような教材を作成するのか、授業内容とどのように関連しているのかを明記してください。
- ・評価に関わる課題関連の業務については、課題作成や添削の具体的内容を示すとともに、成績評価との区分や担当教員との役割分担を明確にしてください。

TFの雇用申請（申請書：記載例）

授業開始前に、記述統計・推測統計の基礎概念と教授法について事前指導を行う。統計的検定の解説方法や、SPSSを用いた実習教材の作成方法についてシラバスに記載の教科書に基づき指導を行う。

授業実施後には、統計用語の説明の分かりやすさ、学生の理解度、演習時間の配分等について詳細なフィードバックを実施するとともに、統計的な考え方の理解促進のための改善点を確認する。

第5回「量的データの解析方法」において、基本的な統計的検定について解説し、SPSSを用いたチュートリアルを行う。

第10回「統計的検定の基礎」において、前半はt検定とカイ二乗検定を解説し、後半はデモデータを用いた分析演習を行う。

学習進度の遅れている学生への個別支援と学習相談対応を行う。補足的な演習課題や視覚的な解説資料を用意し、個々の学生の理解度に応じた支援を行い、必要に応じて教員による追加指導につなげる。

3 TF の指導計画・業務内容	
TF に対する指導方針・指導計画	TF が学ばべきスキルや知識をどのように身につけるのか、具体的なアドバイスやフィードバック方法などを記入してください
授業中における業務 ※TF が授業中に担当できる業務については TF 取扱要項 3(1)アを参照すること。	
担当する授業に関する業務 (取扱要項3(1)アの授業の単独実施に相当)	担当回・時間: 第[○]回・○分、第[○]回・○分 業務内容(シラバスに記載の TF 担当の授業計画に基づいて具体的に記載してください):
授業実施以外の業務 (取扱要項3(1)アの授業の単独実施以外の業務)	活用計画: 第[○]回・○分、第[○]回・○分 業務内容(具体的業務):
授業外における業務 ※TF が授業外に担当できる業務については TF 取扱要項 3(1)イを参照すること。	活用計画: 授業回数[○]週×1 回活用時間[○]h×クラス数[○]クラス 合計活用時間: ○時間 業務内容(具体的業務):

- ・適切な難易度に調整したデモ用のデータセットの作成、SPSSの実習手順書の作成と操作説明資料の準備、統計概念の図解資料や練習問題の作成補助を行う。
- ・隔週で授業後に統計相談のオフィスアワーを設け、データ分析や統計ソフトウェアの操作に関する個別相談に対応する。
- ・TFが担当する授業回の課題作成と添削補助を行う。ただし成績評価は除く。